



かがやき

西橋北小学校

学校だより

No. 7

平成 23 年 5 月 20 日

栽培活動が本格化

(文責：後藤 達人)

ゴールデンウィークが終わり、学習園では、ジャガイモの芽がぐんぐん伸び、大きく成長してきました。それに伴い、各学年の栽培活動が目に見える形で動き始めました。

学校では、毎年さまざまな栽培活動が展開されます。それは、情操教育の面からも大きな効果が期待されるわけですが、学習指導要領に定められた生活科や理科の目標を達成するために行っているものです。今回は、学習指導要領にどのように書かれている



ジャガイモ畑

か、理科を例にして紹介します。

<3年生>

身近に見られる植物から見出した問題を、興味・関心を持って追究する活動を通して、

- ① 生物を愛護する態度
- ② 生物の成長のきまり
- ③ 生物と環境とのかかわり

についての見方や考え方を養う。



カボチャ



スイカとピーマン

<4年生>

植物の成長を季節・気温などに関連付けながら調べ、見出した問題を興味・関心を持って追究する活動を通して、

- ① 生物愛護の態度
 - ② 植物の成長と環境のかかわり
- についての見方や考え方を養う。



ポットに種まき

<5年生>

植物の発芽から結実までの過程などに目を向けながら調べ、見出した問題を計画的に追究する活動を通して、

- ① 生命を尊重する態度
 - ② 生命の連続性
- についての見方や考え方を養う。



スタンバイしている苗

<6年生>

生物の体のつくりと働き、生物と環境を推論しながら調べ、見出した問題を計画的に追究する活動を通して、

- ① 生命を尊重する態度
 - ② 生物の体の働き・環境とのかかわり
- についての見方や考え方を養う。

以上のような目標の達成が求められています。



教室の授業風景から

＜電子黒板を活用した国語の授業＞

四日市市では、電子黒板等の ICT 機器を活用した授業を推進しています。デジタル教科書を使いながら、子どもたちの視覚を存分に活用して、楽しく、分かりやすい授業を行うよう心がけています。

この日は、1 年生が音読の練習に精を出していました。うまく読めるようになりたくて、みんなで声をそろえ、先生と一緒に、張り切って練習していました。



1 年生の授業



2 年生の授業

＜漢字を正しく学習するために＞

本年度は、校内研修委員会からの漢字の習得についての具体的な提案を受け、全学年で、漢字マスターに向け挑戦中です。

漢字を正しく覚え、きちんと書くことはもちろん大切ですが、生きて働く漢字にならないければ、「確かな学力」とは呼べません。自分の生活の中で、しっかりと漢字を使う習慣が身につくように、さまざまな機会を通じて、書いたり、読んだり、話したりさせていきたいと思います。

＜半具体物を使って分かりやすくする工夫＞

3 年生の算数では、わり算の学習が行われています。今後の算数にとって、とても大切なわり算の基礎的な部分の学習です。子どもの思考の助けとなるように、半具体物として「おはじき」を利用し、操作活動を繰り返しながら、定着を図ろうとしています。

具体物を使った操作活動から、抽象的・論理的な思考活動へと進む途中の段階で、とても大切な段階です。自分の考えを、自分の言葉で、しっかりと表現できることを期待しています。



3 年生の授業

西橋北小学校の自然

～イロハカエデ～

若葉の季節を迎え、校庭の木々もそれぞれに固有の色を出し合い、とてもにぎやかになってきました。そのような中で、ひときわ美しく、趣のある葉を出している木があります。「イロハカエデ」です。



羽のある種

淡い緑色で、細くしなやかな枝に行儀よく葉が並んでいます。

写真だけ見ていると、どこかの山の中にいるようです。葉の色や形はもちろん好きですが、もうこの時期に、プロペラのような種を見つけることができるうれしい木です。



イロハカエデ